

## Essay 1

## 英単語はどんな形で覚えるのが最も効率的か

## Citation forms

## ◎ 引用形とは何か

「引用形」(citation form) とは何でしょう? 「引用形」とは、ある単語の文法情報を表し、私たちがその語を文脈に応じて使えるようにしてくれる形です。

具体的に言えば、英語の引用形は次のようなものです。

引用形は

- ① 日本語を使わず、
- ② 記号も使わず、
- ③ 英語の自然な語順を保ちつつ、
- ④ 学習者に新しい英文を作り上げるための十分な情報を提供しながらも、
- ⑤ 短いスペースで、ある単語や表現についての最低限の文法情報を教えてくれる。

次のようなものは引用形とは言えません。

apple    bread    give  
happy    quickly    unbearable

これらが引用形でない理由は、**文法情報をまったく含んでいない**からです。

また、次のような例も引用形とは言えません。

apple ☐ \*  
bread ☐  
give 物 to 人  
give DO to IO

これらが引用形でないのは、確かに文法情報は伝えています、☐やDOなどの記号や「物」「人」といった日本語を含んでいるためです。さらに、“apple”や“bread”の場合は、英語の自然な語順が失われています。

つまり、これらの語は“an apple”や“some bread”が英語として自然な語順であり、大切な文法情報は単語の前に来るもの(anやsome) だということです。しかし、☐や☐などの記号は単語の後に付けられています。

次のような形が引用形の例です。

an apple  
some bread  
to give something to someone  
a happy woman  
to run quickly  
an unbearable situation

**引用形は言葉の扉を開く鍵**なのです。もしみなさんが英語を「単語を覚えること」で学ぼうとしているなら、まともな水準で英語を話したり書いたりできるようにはおそらく決してならないでしょう。実際には、みなさんは時間をムダにしていることになるのです。

\* ☐ = Countable (可算の) ☐ = Uncountable (不可算の) DO = Direct Object (直接目的語) IO = Indirect Object (間接目的語)